

親子3代で手がける防災工事業 組織化を図り地域貢献を目指す



消防設備士 **大西 俊輝**

学業修了後、祖父の手がける防災工事業に技術者として参画。点検や工事に携わるためのあらゆる消防設備士の資格を取得する。父の義明氏を迎え、2015年にサンライズ防災（株）を設立した。

専務取締役 **大西 義明**

大手自動車メーカーの関連会社に長年勤務する。早期退職を経て、父と息子が手がける防災工事業に加わる。現在はサンライズ防災（株）の専務取締役として、社内システム構築に尽力している。



サンライズ防災 株式会社

〒494-0012

愛知県一宮市明地字江端前 4-2

TEL 0586-58-7828 / FAX 0586-68-0736

URL <http://www.sunrise-bousai.co.jp/>

【事業内容】

消防・防災設備の設置、消防・防災設備の保守点検、消火器・消防用品の販売、防災用品の販売

Company data

るのですが、一方で街頭消火栓は町内で管理する体制に変わり、対応できる人間がいなかったということから私たちに白羽の矢が立ったのです。その案件をきっかけに町会長さんと関係を構築することができましたし、そういった活動は積極的に行っていききたいですね。

水野 そのためには、共に働く人員を整えることも必要になると思います。

大西（俊） ええ。これまでは他所から仕事を頂くことが多かったのですが、最近ようやく他所に手伝わってもらうほどの仕事を依頼して頂けるようになってきました。大きな施設の点検には複数人で臨む必要がありますから、今後は即戦力となる技術者を入れていきたいですね。

大西（義） そこでまずは、職人さんを含めた強固なネットワークを構築しようと考えています。独立したものの1人でできる仕事は少ないというケースもあるでしょうから、皆で仕事を回しながら、利益を配分できるような仕組みを作ればと。そうして内外で確かな信頼関係を築きながら、会社としての組織化を進めていこうと思います。

水野 こちらでは、親子3代で防災工事業を手がけておられるそうですね。

大西（義） はい。もともと私の父が個人事業主として立ち上げ、10年ほど前に私の息子が技術者として参画していました。私自身は別業界にいたのですが、2015年に早期退職したことから家業を手伝おうと考え、専務取締役として加わった次第です。現在は海外での勤務経験などを活かしつつ、主に営業システムや社内インフラの構築に尽力しています。

水野 なるほど。一般の方にはあまり馴染みのない職業かと思いますが、具体的にはどのようなお仕事なのですか？

大西（俊） 消火器、スプリンクラーといった消防・防災設備の設置や点検が主な業務です。小学生の時に学校の消火器を定期的に点検しに来る人を見たことがある方は、その人をイメージしてもらえれば分かりやすいかもしれません（笑）。その他、一般のご家庭にある消火器の詰め替えや、防災用品の販売なども手がけています。

水野 かなり専門的なお仕事のようにですが、必要な資格はあるのでしょうか。

大西（俊） ええ。「消防設備士」という免許があり、さらに点検や工事に携わるためには複数種類の免許が必要です。私は一通りの免許を持っていますから、消

防設備に関するあらゆる仕事に携わることが出来ますよ。

水野 まさにエキスパートといったところですね！お仕事をされるエリアとしては、地元が中心になるのですか？



大西（義） そうですね。ただ地元にごだわつつもりはなく、市外にもどんどん展開していきたいと考えています。先日も、隣町の方から老朽化した街頭消火栓の点検を依頼して頂く機会がありました。私たちが住んでいる一宮市では、街頭消火器は市が管理することになってい

Guest Comment

水野 裕子（タレント）

私は一宮市が地元なのですが、この辺りの地区は昔から「朝日」と呼ばれており、それがサンライズ防災さんの社名の由来だとピンときた時はなんだか嬉しくなりました。これからも地域の方から愛される企業として、着実に規模を拡大されていってほしいですね！

